

19歳ひとり親「ご飯ない」と検索

共生のSDGs
コロナの先の2030

大阪府内の住宅密集地の一角で、母親になったばかりの19歳の女性が一人で赤ちゃんを育てている。1LDKのアパートの一室。つかまり立ちができるようになった子どもの成長はうれしいが、新型コロナウイルスの影響で勤め先の業績が悪化し、育児休暇から職場に戻る見通しが立たなくなった。「復帰は無理」と伝えられたという。

男の子を出産したのは今年3月。新型コロナウイルスが日本で猛威を振るい始めたころだ。頼れる身内はおらず、子どもの父親にあたる男性は、妊娠を知ると女性のものを去った。貯金から出産や引越しの費用を支払って、手元に残ったのは2万円。育休中で収入が減り、子育ての出費や家賃で家計が回らなくなった。

「高くて紙おむつも買われへんかった」と振り返る。毎日の食事のおかずは買わないみそ汁。妊娠して57才あった

コロナ禍 復職できず「この子を守りたい」



お気に入りのぬいぐるみで赤ちゃんをおやす女性＝大阪府内、滝沢美穂子撮影

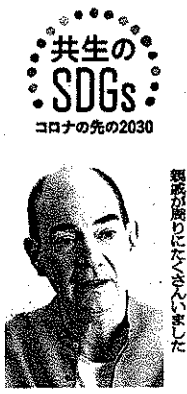
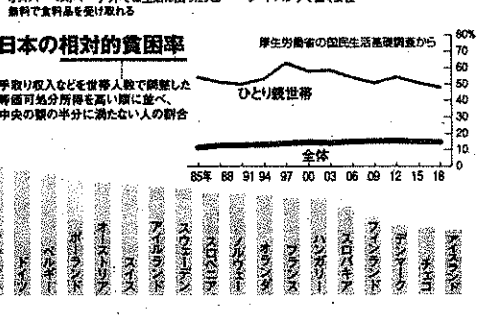
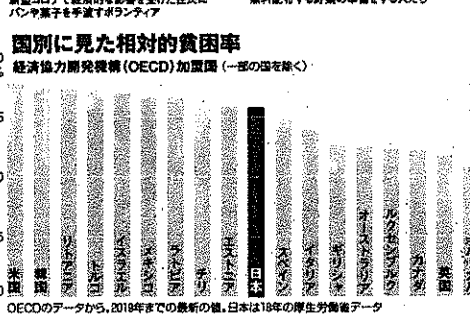
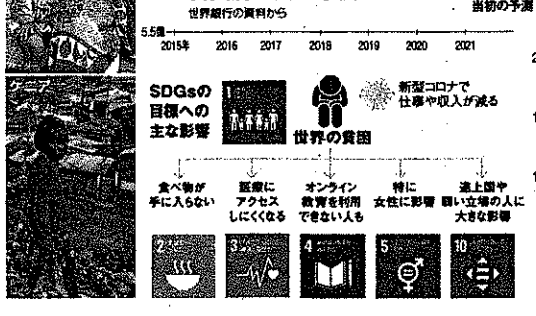
体重は、40kgにまで落ちた。「ひとり親（ご飯ない）。スもあつた。子どもの命を守りマホで検索して支援団体を探した。知り合いに窮状を訴える」と、「自分で選んで産んだん」と、「ほんまに助けてほしかった

「逆」に責められること。役所でひとり親への手当を申請する書類に精いっぱい思いをそう記した。「ほんまに助けてほしかった」女性に親から虐待を受け、児童養護施設で育った。高校には進学せず、事務補助などの仕事をしていた時に妊娠した。子どもの父親にあたる男性は「自分の人生を生きたい」と、子の認知をしなかった。「あなただけがしんどいんじゃない、と言われるのが一番つらかった」という。

5月、窮状に気付いた知人に買ってもらった食材で、サケのかす汁を作った。「白米以外のもの、1カ月ぶり」。お札にそんなメッセージを送った。国内のひとり親は、厚生労働省の推計で約142万世帯。母子世帯では8割以上の母親が働いているが、平均就労収入は200万円だ。女性は今、月8万円弱の育児休業給付金などで生活をつないでいる。来年2月末には切れるため、児童手当や支援団体の寄付が頼りだ。「できへんから助けて、と頼むのはダメな母親なのかな。仕事見つけて頑張るしかないです」兵庫県明石市で子ども食堂を運営する「こどもサポート財団」の小谷くにこ事務局長は「新型コロナウイルスの影響で食べ物の支援を必要とする人が確実に増えた」と感じている。5月から持ち帰り弁当を無料で配り始めたところ、ひとり親世帯などを中心に以前とは違う家庭からも申し込みが来るようになった。小谷さんは「経済的困窮は見えにくいけど、コロナによって最低限の食事に事欠く人が珍しくないことが見えてきた」と話す。

2016年にカンヌ映画祭の最高賞に輝いた映画「わたしは、タニエル・ブレイク」には、英国で2人の子を育てるシングルマザーが慈善団体に無料の食料をもらいに行く場面がある。母親は空腹に耐えきれず、その場で缶詰を開けて手づかみで食べ始める。実話に基づいているという。食料に窮する人たちがいるのは、新興国や途上国だけでなく、日本を含む先進諸国にも共通する問題だ。新型コロナウイルスによる経済への打撃がさらに追い詰める。日本では新型コロナウイルスが影響した解雇や雇い止めが6万人を超えた。よりよい世界をめざす国際目標SDGs（持続可能な開発目標）は、2030年までにあらゆる形態の貧困に終止符を打つことを掲げている。誰も置き去りにしない。世界共通の目標の達成にいま、新型コロナウイルスが立ちほだかっている。（中塚久美子）

▼2面＝先進国でも深刻



先進国 コロナで広がる貧困

共生のSDGs
コロナの先の2030

「Take what you need (必要なものを取り出す)」オーストリアのシェンゲン入国審査場に掲げたステッカーが、無償のスーパーとして知られるオースハーバースーパーマーケット。入り口には新型コロナウイルス感染症対策として、入国審査場が列を空けていた。

「貧しさを見せない、見ない日本」が、この国は「見えない貧困」が蔓延している。日本では、貧困が「見えない」状態にある。貧困は「見えない」状態にある。貧困は「見えない」状態にある。

「最悪の場合 来年7.3億人」 世界で労働時間の17%（4億5000万人分のルタイムの労働時間）が失われたと推計。先途暗い社会の危機感、世界の減少したことを、世界は「見えない」状態にある。

「豪の女性」子どもにも牛乳を、私は水」 「貧しさを見せない、見ない日本」が、この国は「見えない貧困」が蔓延している。日本では、貧困が「見えない」状態にある。

「無料スーパーに行列」 「貧しさを見せない、見ない日本」が、この国は「見えない貧困」が蔓延している。日本では、貧困が「見えない」状態にある。

「世界の見えない貧困」 「貧しさを見せない、見ない日本」が、この国は「見えない貧困」が蔓延している。日本では、貧困が「見えない」状態にある。

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。世界が掲げるそんな目標の達成が、新型コロナウイルスの感染拡大によって大きく遅らしている。2030年に向けた世界共通の行動計画SDGs（持続可能な開発目標）は、17の目標の一つ目に貧困撲滅を掲げるが、貧困を巡る状況は先進国でも深刻だ。

「貧しさを見せない、見ない日本」が、この国は「見えない貧困」が蔓延している。日本では、貧困が「見えない」状態にある。

「世界の見えない貧困」 「貧しさを見せない、見ない日本」が、この国は「見えない貧困」が蔓延している。日本では、貧困が「見えない」状態にある。

10/18 朝日